

乳がん検診は無料です！

- 江戸川区では検診受診のきっかけとして、今年度41歳になられる方へ「無料クーポン券」をお送りしています。

有効期限 令和9年3月31日

※予約受付期限：令和9年2月28日

- 検診自体は**15分程度**で終わります。

あなたの健康のために、がんを早期発見し、治療できるよう、検診をお受けください。

- ★予約状況によっては、期限内に予約が取れずクーポン券が使用できなくなる場合があります。お早めのご予約をお願いします。
- ★このご案内が、既に受診済みの方、現在治療中の方に届いた場合にはご容赦ください。
- ★検診の対象は江戸川区に住民登録をしている方です。転出された方は転出先の区市町村にご確認ください。

受診の流れ

1 会場を決める

検査会場	検査の種類
医師会医療検査センター	マンモグラフィ検査・超音波検査
東京臨海病院	マンモグラフィ検査
江戸川病院	マンモグラフィ検査

2 予約する

【予約先】江戸川区医師会医療検査センター
☎03-5676-8818



インターネット予約

3 受診する

予約した会場へ下記の持ち物を持ってご受診ください。

- クーポン券 ●本人確認のできる書類
- ※クーポン券の持参がなくても無料で受診できます。

4 結果を確認する

約1か月後に郵送でお届けします

「要精密検査」になったら必ず精密検査を受けましょう。

※精密検査は保険診療となり有料です。

乳がん検診について

江戸川区の乳がん検診は下記のとおり無料で実施しています。
40歳からのマンモグラフィ検査は2年に1回、前年度未受診の方が受診できます。(クーポン券の持参がなくても無料で受診できます。)

対象	検査内容	検査時間目安
30～39歳の女性	超音波	10～15分 ※待ち時間除く
40～64歳の女性	超音波またはマンモグラフィ	
65歳以上の女性	マンモグラフィ	

※超音波とマンモグラフィの両方の受診は不可。
※マンモグラフィは前年度未受診者のみ受診可能。

会場

江戸川区医師会医療検査センター

江戸川区船堀4-1-1 (タワーホール船堀6階)

※マンモグラフィ検査のみ、東京臨海病院・江戸川病院でも受診可。

がん検診のデメリット

- ①がんが100%見つかるわけではありません。
どんなに優れた検査でも「絶対」はありません。やむを得ずがんを見逃してしまうことがあります。(偽陰性)
- ②結果的に不要な治療や検査を招くことがあります。
がんでないのに「がんの疑い」と判定されてしまったり(偽陽性)、健康や生命に影響しない微小ながんを見つけてしまうこと(過剰診断)により、余分な精密検査を受けることによる身体的・心理的な負担がかかってしまうことがあります。
- ③偶発症のリスクがあります。
例えばX線などによる放射線被ばくによりがんの誘発や、遺伝的影響は否定できませんが、極めて低い確率です。

東京都からのお知らせ

子宮頸がん検診 または 乳がん検診
を受診した方に

健康関連グッズか東京ポイントをプレゼント!

【この件に関するお問合せ先】

東京都保健医療局保健政策部健康推進課 TEL：03-5320-4367

詳細については
こちらでご確認ください。



●職場の皆様へ

本検診は対象年齢の方に受けていただきたく、実施しているものです。対象の方が検診のための休暇を願い出た場合は、ご協力をお願いします。

編集：東京都保健医療局／発行：江戸川区

令和8年度乳がん検診(無料)のお知らせ

乳がん検診を受けましょう。

東京都乳がん検診
普及啓発事業
公式キャラクター
モモ



PostPet™
Creating Happiness Through Pet Care

乳がん検診は

30歳から受けられます。

日本人女性の9人に1人になるという乳がん。早期発見・早期治療による10年後の相対生存率は90%以上です。定期的な乳がん検診の受診と日頃から乳房に変化がないかをチェックする習慣が大切です。

【出典：東京都保健医療局、承認番号：8保医保健第390号】

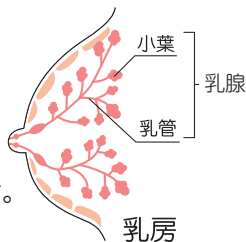
健康部健康推進課健診係

☎03-5662-0623



乳がんとは？

乳がんは、乳腺にできるがんです。乳房には小葉(母乳を作る場所)と乳管(母乳の通り道となる管)があり、小葉と乳管をまとめて乳腺といいます。



乳がんの発症リスクが高い人

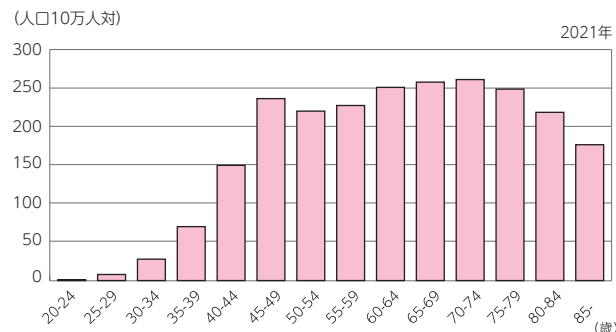
- ☐ 初潮年齢が早い、閉経が遅い
- ☐ 初産年齢が高い、出産歴がない、授乳歴がない
- ☐ 血縁者(特に母・姉妹・娘)に乳がんになった人がいる
- ☐ 閉経後の肥満
- ☐ 飲酒、喫煙、運動不足といった生活習慣

当てはまる人が必ず乳がんになるわけではありません。
当てはまらない人でも乳がんになる可能性があります。

乳がんになる人は30歳代後半から増加し、40歳以上の年代に多く、乳がんは女性のがんによる死亡原因の上位に位置しています。しかし、早期発見・早期治療による10年後の相対生存率は**90%以上**です。

(出典:公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計2023」)

乳がんになった人の割合(全国・女性)



※上皮内がんを除く

※出典:国立がん研究センター がん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)

乳がん検診ってどんな検査？

「乳がん=しこり」と思われていますが、小さながんはしこりとして触れません。自覚症状がなくても、**40歳から2年に1回、定期的に乳がん検診を受診**することが大切です。

※東京都の指針による

検診の内容

○質問(問診)

○乳房エックス線検査(マンモグラフィ)

乳房専用のエックス線装置で、左右の乳房を片方ずつ挟み、乳房を圧迫して平坦にしてエックス線写真を撮ります。



- ・圧迫する時間は片側数十秒ほどです。
- ・月経前1週間を避けると痛みが少ないと言われています。
- ・圧迫することで、異常を見つけやすくなり、放射線による被ばく量を減らすことが可能です。

検診はどこで受けられる？

○江戸川区のがん検診(無料)

○職場の検診(実施しているか、各職場にご確認ください)

○人間ドック など

職場の検診等で乳がん検診を受診する方は区の検診はご遠慮ください。

検診で「**要精密検査**」となった場合は、**必ず精密検査を受けてください。**※

※検診では、がんではないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけれない場合があります。

乳がん・乳がん検診についての詳細はこちら

女性 健康 を 支援 する ポータル サイト

大切な、わたしのからだ。チェックしよう。ケアしよう。

TOKYO #女子けんこう部



「ブレスト・アウェアネス」の4つのポイント!

乳がんを早期に発見するためには、日頃から乳房の状態を意識する生活習慣=「ブレスト・アウェアネス」が大切です!※
※検診対象世代ではなくても大切です

1 普段から乳房をチェックして、**自分の乳房の状態や月経周期による変化**※を知っておきましょう。

※月経前に乳房の張りを感じ、月経後半には張り感が減少していきます

見るときのポイント

鏡に向かい、乳房のいつもの状態をチェックしましょう。

触るときのポイント



お風呂に入った時に石けんのついた手で触ると変化がわかりやすくなります。

乳首を軽くつまんで、血液などの異常な分泌物がないかもチェック

2 普段の自分の乳房の状態を知ることで、初めて、**変化**に気が付けます。自己触診とは異なり、しこりを探すという行為や意識は必要ありません。**「いつもと変わりがないかな」という気持ちで取り組みましょう。**

3 気になる変化に気づいたときには、検診を待たずに**すぐに乳腺外来のある医療機関を受診**しましょう。

4 自覚症状がなくても、**40歳から2年に1回、定期的に検診を受けることが大切です。**検診は、お住いの区市町村、職場、人間ドックなどで受けられます。検診で「**要精密検査**」となった場合は、必ず精密検査を受けてください。